

暗い色調ながら、肌の陰影に青緑や紫がかった色を巧みに用いることで色調が沈まず、全体に柔らかな印象を与える本作。画面構成にも安定感があり、アカデミックな技法で実直に描かれています。

作者の鱸利彦(1894-1993)は千葉県に生まれ、幼少期に宮崎県へ移り住みました。1913年に旧制県立宮崎中学校を卒業後、東京美術学校に入学し藤島武二らに師事。画業の前半は高島屋図案部に勤めながら、文展や帝展で入選を重ね、本作はその文展で初入選した作品です。戦後は二科会や一陽会にも参加し、1950年に共立女子大学教授に就任。1990年には宮崎文化賞を受賞しています。生涯をかけて鱸は、写実の追求や線と色面による画面構成など、年代ごとにさまざまな表現を模索していきました。

◎問い合わせ 市立美術館 ☎ 25-1447

「婦人像」 鱸 利彦 作 (1917年)



History exploration | 歴史探訪！

男神像・女神像(千足神社神像)の修理

美川町の千足神社にまつられていた神像群のうち、「男神像」3体と「女神像」1体は県有形文化財に指定されています。いずれも平安時代末から鎌倉時代にかけて制作されたものと推定されています。この時期の神像が現存している例は少ないことから、歴史的にも美術史的にも大変貴重です。

しかし、経年劣化により表面が薄皮状となり剥離が進んでいることや、像の底部の傷みも甚大であったため、所有者が令和4年から同7年までの4年間、専門家に修理を依頼しました。この修理は、作られた当時の姿に戻すものではなく、今に伝わる姿をそのまま後世へと伝えていくことを重視しました。そのため、虫損や欠損箇所には木像を傷めにくい素材で補強や穴埋めを施しています。



※現在、これらの神像は資料館に寄託され現地で見ることはできません。
収蔵資料展「遺されてきたモノ〜守り継ぐ文化財〜」で順次公開予定

◎問い合わせ 文化財課 ☎ 23-9547



「東照大権現霊夢像」(徳川記念財団所蔵)

江戸幕府初代将軍の徳川家康を描いた肖像画。霊夢像とは、3代将軍徳川家光が夢に見た家康の像を描かせたもので、本図は「東照大権現像」として神格化した姿で表現されています。

慶長4(1599)年に起こった島津氏最大の内乱・庄内の乱で深く関わった家康と都城。庄内の乱は、島津忠恒に謀殺された伊集院忠棟の子・忠真が島津氏に反旗をひるがえしたことで始まりました。都城盆地を戦いの舞台に、島津勢と伊集院勢との一進一退の攻防が繰り広げられました。家康は、仲介役として家臣・山口直友を庄内(都城)に派遣して、和平交渉を進めます。翌年2月に忠真が和平勧告を受け入れたことで、1年余り続いた戦いが終息しました。本乱の活躍により、北郷氏は祁答院から都城領へ復帰し、都城領主としての立場を築いていくこととなります。

本市の歴史の転換点に関わった徳川家康を描いた本図は、特別展「都城島津氏の歩みと新『都城市』」で10月10日(土)から28日(木)まで展示しています。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎ 23-2116



会社外観

昭和60年に創業した株式会社システム技研は、携帯電話の普及に伴うリチウムイオン電池の需要増加の波を捉え、同製品を生産する製造メーカーに向けた省力化設備の開発製造を事業の柱として成長。現在は生産現場に欠かせない自動機・治工具や精密部品加工を主力事業としています。平成29年には、地域経済への貢献などが期待される企業として国から「地域未来牽引企業」に認定されました。

同社の最大の強みはオーダーメイドの生産設備を、設計から加工、組み立て、現地での立ち上げまで提供できる。同社の成長を牽引するのが長峯清隆代表取締役。「社員が多くの経験を積み、いつの間にか頼れる存在へと成長する姿を見るのがやりがい」と語ります。従業員42人のうち9割がウタレン者で、ものづくりを通じて、本市の雇用創出の一役を担っています。「創造・技術・調和を大切に」を企業理念に掲げる同社。長峯代表は「AIなどの最新技術を取り入れた新しい分野の事業も立ち上げているところで、私たちが造った設備は、これから世界でさらに活躍の舞台を広げていきます」と力強く未来を見据えています。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.73

株式会社システム技研

☎ 27-5300



代表取締役 長峯 清隆さん(右)
取締役統括本部長 松崎 洋一さん(左)

今月の読者プレゼント



BHUバーガー 1食 5人

プレゼント提供者

BURGER HOUSE U(山田町中霧島3158) ☎080-5602-5003

都城産のしょうゆとこだわりのだしで作る和風ソースの優しい味わいが人気の同店から、自慢の王道ハンバーガーをプレゼント。老若男女どなたでも食べやすいうまみ引き立つ1品をお楽しみください。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、10月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 10月31日(土) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙12月号
- ◎8月号当選者 ともやんさん 他9人
- ◎8月号応募総数 474通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます



＼お待ちしています／ 読者のお便り

郵便はがきにこの面を貼り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

- ①氏名、②フリガナ、
- ③ペンネームまたはイニシャル、
- ④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号